

News Release

2006年7月7日

株式会社 SOBA プロジェクト

「SOBA LIVE」を遠隔教育に提供 ASTEMと京都工芸繊維大学の eラーニングMOT研修を支援

産学官発の IT ベンチャー企業である株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区、代表取締役社長:緒方 敏博)は2006年7月、財団法人京都高度技術研究所(京都市下京区、以下「ASTEM」)および京都工芸繊維大学大学院ベンチャーラボラトリー(京都市左京区、以下「KIT-VL」)の連携で取り組まれる MOT¹研修の遠隔教育向けに、インターネットを介して研修講義の映像を手軽に双方向配信するeラーニングシステムとして「SOBA LIVE」を提供し、遠隔教育を支援します。

ASTEM および KIT-VL は、次世代を担う人材育成や新市場・新規事業の創出を目指した新たな知育形態の確立を狙いに、ASTEM が主催する MOT 研修を産学公連携による遠隔教育プログラム²とする展開をはかり、同年7月1日から開始しました。この遠隔教育プログラムを支援する遠隔教育システムに当社の SOBA LIVE が採用され、ASTEMで同年7月から12月の期間で行われる MOT 研修講義の映像を遠隔に位置する KIT-VL の講義室に配信することで、遠隔拠点間でも手軽に研修を受けることが可能になりました。同大学大学院ではこの遠隔 MOT 研修を単位取得の対象とし、ネットワーク環境を活かした次世代型教育と人材育成に期待をかけています。

SOBA LIVE は当社の双方向型ビジュアルコミュニケーション基盤ソフトウェア「SOBA フレームワーク」³を活用した、高解像度の映像送受信機能を備えるアプリケーションソフトウェアです。高速の IEEE1394 接続によるデジタルビデオカメラの高画質な映像を簡易に双方向配信し、複数の拠点間でライブ中継を容易に実現できるのが特徴です。

当社は今後も、中心的技術である SOBA フレームワークの機能向上を図るとともに、教育分野をはじめとするさまざまな分野に向けた、応用ソフトウェアの研究開発およびサービス提供を通じて社会貢献に努めてまいります。

【補足説明図】

図1は、2006年7月1日(土)に開講された第1回 MOT 研修の ASTEM および KIT-VL における受講の様子の様子です。



図1 ASTEM および KIT-VL での遠隔 MOT 研修の様子

【用語補足説明】

1 MOT (Management of Technology, 技術経営)

技術に立脚する事業を行う企業や組織が持続的に発展するために、技術が持つ可能性を見極めて事業に結び付け、経済的価値を創出していくためのマネジメントです。

2 MOT 研修の遠隔教育プログラム

財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM) が京都市地域プラットフォーム事業の一環で主催。カリキュラムはモジュール (イノベーション論 & 会計・ファイナンス)、モジュール (戦略論)、モジュール (知的財産)、モジュール (科学技術の市場化) で構成し、7月1日から12月16日までの期間で各モジュール4回ずつ、計16回の研修が行われ、大学や企業等の知的資産を戦略的に活用するための能力が養成されます。

講師陣は名古屋市立大学大学院角田隆太郎教授、同志社大学松本敏文教授、渡邊正和FRJコンサルティング代表取締役、慶應義塾大学奥村博昭教授、同志社大学山口栄一教授、早稲田大学大学院大江建教授、および財団法人比較法研究センター知財研究グループのメンバーで構成されています。

参考URL (ASTEM の Web サイト): <http://www.astem.or.jp/>

3 SOBA フレームワーク

SOBA とは Session Oriented Broadband Applications の略で、複数のユーザーが多様なメディア (映像、音声、アプリケーションソフト画面やテキストなどのデータ) 情報を双方向で共有することができる P2P (ピア・ツー・ピア) 型ネットワークアプリケーションの総称。SOBA のソフトウェアを形作るための枠組みとなる基盤技術が SOBA フレームワークです。SOBA フレームワークは P2P 方式を活用した技術であるため、サーバーなしで手軽に遠隔地のユーザーと情報共有や共同作業を行うアプリケーションソフトウェアやシステムを開発・実現することができます。

【SOBA プロジェクトについて】

京都発祥の、産学官共同研究プロジェクトから生まれた、次世代の双方向型ビジュアルコミュニケーション市場を開拓する産学官発のベンチャー企業です。

SOBA(Session Oriented Broadband Applications)プロジェクトは、90年代末に今日の新たなネットワーク社会の到来を予見し、次世代のネットワーク環境を有効に活用する新たなソフトウェア基盤技術の確立を主な目的に2001年、京都大学を中心とした研究グループ(京都大学、東京工業大学、早稲田大学、慶應義塾大学)とオムロン株式会社の研究所による産学共同体制で発足。その後まもなくNTTコムウェア株式会社が同プロジェクトに参画し、加えて財団法人京都高度技術研究所を母体に2002年度から3年間にわたって文部科学省による業務委託を受託し、産学官共同によるSOBAプロジェクト体制で技術開発が推進されました。SOBAプロジェクトに属した精鋭の研究者および技術者による英知を結集した結果、2005年3月に研究成果の集大成となるSOBAフレームワークを完成。SOBAの概念とSOBAテクノロジーを確立し、同プロジェクトの任務が達成されました。

そして2005年4月1日、SOBAテクノロジーを熟知したメンバーによって、これまでに創造した研究開発成果とSOBAの概念・思想を継承した「株式会社SOBAプロジェクト」が発足。当社はSOBAの技術開発と普及、事業化に鋭意取り組み、SOBAテクノロジーを活用した商品や情報サービスを提供することで新たな市場の開拓を推し進めてまいります。

【会 社 概 要】		(2006年6月末日現在)
会 社 名	株式会社 SOBA プロジェクト	
英 文 社 名	SOBA Project, Inc.	
本 社 所 在 地	〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地 京都リサーチパーク 2号館 2階 1号室	
代表取締役社長	緒方 敏博	
資 本 金	6,850 万円	
設 立	2005年1月27日	
U R L	http://www.soba-project.com/	

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 SOBA プロジェクト
代表取締役社長 緒方 敏博
E-mail: ogata@soba-project.com

京都本社 広報担当：井村 美和 E-mail: imura@soba-project.com
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 番地
京都リサーチパーク 2号館 2階 1号室
TEL: 075-323-6066 / FAX: 075-323-6067

東京支社 経営企画担当：小柴 眞 E-mail: koshiba@soba-project.com
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1丁目 14-14
Remark 大手町 4階
TEL: 03-3518-2735 / FAX: 03-3518-2736

以 上